

切っ子



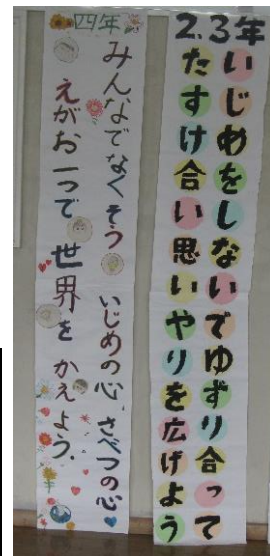
学校目標 「自ら気づき 考え 実行する」子どもの育成

文責 菊池 典男

◇ 平和集会での各学年の目標です！！

8月6日(火)に平和集会が台風のため中止となり、8月27日(火)に行われました。その日も雨足が強く、止みそうになかったため、平和集会の時間を1時間短縮して行いました。平和集会では、各学年で考えた平和スローガンが発表されました。

切木小学校から、みんなでいじめの心や差別の心をなくし、思いやりの心を大きく育てたいですね。相手を尊重し思いやりの心が世界中に広がれば、戦争はなくなります。平和集会で感じたことや考えたことを大切にしたいと思います。



1年生 たくさんあそんでなかなよくなるよう

2・3年生 いじめをしないでゆずり合って たすけ合い 思いやりを広げよう

4年生 みんなでなくそう いじめの心 さべつの心 えがお一つで世界をかえよう

5・6年生 相手を尊重しけんかをせず 差別をしない学校にしよう

◆ 始業式で「命の尊さ」について、話をしました！！

9月2日(月)から2学期がスタートしました。8月後半は長雨にたたられ、特に8月28日は県内に大雨洪水警報が発令されるなど、県内で大きな被害をもたらしました。8月27日に行われた平和集会の中で話す予定だった話は、下校時刻を早めたために話すことができませんでしたので、始業式で話しました。

子どもたちに話したのは、「アウシュビッツ強制収容所」についてです。アウシュビッツ強制収容所は第2次世界大戦時に、ドイツ首相のアドルフ・ヒトラーがユダヤ人絶滅計画の遂行を目的にポーランド南部につくった施設です。広島県にある原爆ドーム同様、人類が犯した大きな過ちを2度と繰り返さないように、未来へ引き継ぐために世界遺産登録されています。現存する施設は、ポーランド国立オシフィエンチム博物館として公開されています。

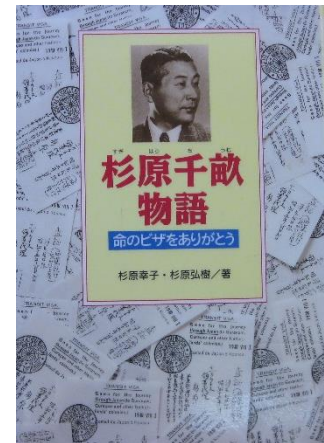
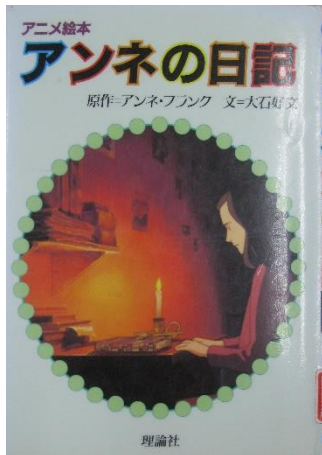
まず、どんな施設なのかを低学年にも理解できるように、実話をもとに作られた絵本「エリカ 奇跡の命」を読み聞かせました。

その後、アウシュビッツ強制収容所で強制労働をさせられた人や命を奪われた人について話をしました(1933年から1945年の間に、600万人ものユダヤ人が命を奪われています)。

戦争は人を狂わせてしまいます。夢や希望、家族や友達との絆、何よりもかけがえのない命までも簡単に奪っていきます。二度と戦争が起こらないように、生まれた国や生まれた場所で人を差別したり人をいじめたりすることなど、戦争につながりかねない心の芽を摘み取り、人に対する「思いやりの心」の芽を大きく育ててもらいたいと思います。



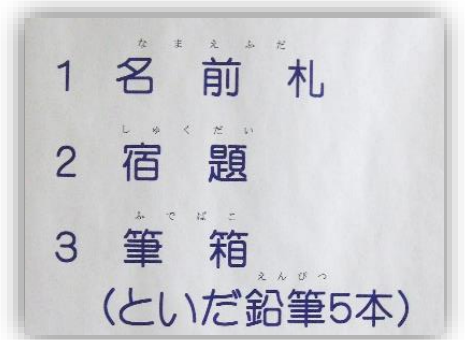
なお、関連図書として「アンネの日記」「杉原千畝（すぎはら ちうね）」は学校図書室にありますので、ぜひ読んでもらいたいと思います。お薦めの3冊です。



◇ 2学期に頑張してほしいこと！！

始業式では平和についての話をした後、2学期に頑張してほしいことを話しました。時間が押していたので、ゆっくり話すことができませんでしたが、3つのことを伝えました。

一つ目は、「**3つのそろえる**（名札、といだ鉛筆5本、宿題）」を頑張ることです。学習に対する構えを習慣化することはこれから必ず子どもたちの力になります。アメリカ建国の父といわれるベンジャミン・フランクリンは「**準備しないことによって、失敗をする準備をしている**」という言葉を残しています。言い換えれば、「何かを成し遂げるには段取りができていないとできないよ」と教えてくれていると思います。



1学期最後の「3つのそろえる」調査では、75%の子どもたちができていました。1年前は20%台だったので、とても成長しているなど感じています。ご家庭でも一言声をかけていただければ幸いです。

二つ目は、「**自他の命を大切にし、思いやりの心を大きく育てる**」ことです。まず、自分や友達を大切にしてほしいと思います。平和集会で読み聞かせをした「エリカ 奇跡の命」の中で、エリカとエリカの両親がアウシュビッツ強制収容所に貨車で運ばれている途中に、母親がエリカを貨車から小さな草むらの上へ放り投げる場面があります。その場面を絵本では「お母さんは自分は『死』に向かいながら、わたしを『生』に向かってなげたのです。」とあります。強制収容所に送られれば「死」しか待っていません。万が一でも助かる可能性のある貨車から放り投げることを選んだのです。命はたった一つしかありません。それは、自分も友達も同じです。互いが思いやりの心をもって生活し、たった一つの命を誰もが輝かせてほしいと思います。

三つ目は、「**できる限り徒歩通学し、晴れた日は外遊びする**」ことです。学校では子どもたちに「生きる力」を育もうと、知・徳・体を念頭に教育活動にあたっています。体力・気力は生きる力の基盤となるものです。「寒さ・暑さ・きつさ」に負けない体力と気力を育んでほしいと願っています。ご理解の上、ご協力をお願いします。

